

# リクルートがシステム開発

町が予定している運営の全体像は、利用者の対象は



65歳以上の高齢者と障害者。地域は川北と大羽根園の2地区。対価は1台15分500円。町は、川北については地元からの要望、大羽根園については、すでに住民の生活支援の仕組みがあることが選定の理由としている。大羽根園については、湯の山線の「大羽根園」駅もあり、会議では「空白地ではないのではないか」との意見も出た。

運転者は6人、利用者は約30人を想定。運転者講習を11月にも開催したいとしている。地域住民への説明会は今後予定。会議での議

論を踏まえ、町では「運行が認められれば、来年6月に公共交通会議を開き、利用状況やタクシー事業者への影響などを検証したい」（健康福祉課）としている。

リクルートホールディングス広報室は「現段階では、菟野町については導入を検討していただいているところで、町や社会福祉協議会の判断になる。タブレット端末を使った予約システムは開発中で、今後、移動手段の不便な地域に家用車やタクシーを活用した予約システムの提案を行っていききたい」と話している。

町内にある近鉄湯の山線の3つの駅の1つ「菟野」。乗り場には地元事業者のタクシーも待機している

(19日)